

酪農現場における消毒のポイント

- 消毒は、人間や家畜に有害な病原微生物を死滅させることです。
- 微生物や菌を、農場に持ち込まない、増やさない、持ち出さないために、消毒は重要です。

1. 消毒のポイント

- 消毒の効果を高めるためには、**汚れ（特に、有機物）をしっかりと落とす**
- 消毒薬の**接触時間**をより長くする
- **使用濃度**を守る（※ 説明書に従い適切に使う）

踏込消毒槽の場合



水道や洗浄用の水槽で
汚れをきれいに落とす



長靴は消毒液に
しっかり漬ける

牛舎やカーフハッチの場合



高圧洗浄機などで、よごれや
ほこりを落としてから消毒する

2. 消毒薬の使用上の注意

● 種類の違う消毒薬を混ぜない！

アルカリ性消毒薬（消石灰等）と、酸性消毒薬（ビルコン、クレンテ等）を混ぜると効果がなくなるので注意しましょう。

● ゴム手袋・マスク・保護メガネを着用する！

調整時や使用時には、手袋やマスク、保護メガネなどを必ず着用しましょう。

● 安全な場所に保管する！

消毒薬は扱いを間違えると大変危険です。事故が起こらないように、幼児の手の届かない場所に保管しましょう。

● 休薬期間に注意する！

消毒薬によっては畜体に直接噴霧すると、定められた期間と畜場へ出荷できなくなるものがあります。また、畜体への噴霧自体を禁止している消毒薬もありますので、使用前に取扱説明書等でよく確認しましょう。

≪休薬期間が3日間の例≫

畜体噴霧「1月1日」の場合：休薬期間「1月2日～1月4日」 出荷「1月5日～」

